

e-mōca

イーモカ

vol.12



伊東七つ生
竹中せい
八コモチ
山田酉子

cover
ハジ

新也美樹
あじみね朔生
亜樹良のりかず

e-mōca

イーモカ

vol.12

cover illustration ハジ

亜樹良のりかず (spicy&sucary)

あじみね朔生 (beauty&beast)

竹中せい (ワイルドハニー)

新也美樹 (お隣りさんの秘密)

山田酉子 (さよならモンスター)

伊東七つ生 (白紙)

ハコモチ (意気地なしにはなれない)



spicy & sugary

亜樹良のりかず



…いや
あのっ

守ってる
っていうのは

勿論友人と
してであって

深い意味は
無いからなっ



あ、あ、無い

…無いんだ



…深い意味が
あるんなら

守ってもらっても
良かったんだ
けどな…



—え？



とにかくもう
決めたことだから

…それじゃ
元気だね

えっ

ちよっ…



きたはら
北原つ



…じゃあ
せめて

こっち
東京に
いる間
だけ
でも
ウチに
来
ないか？



ながい
長井……



beauty & beast

あじみね朔生

ふんふん

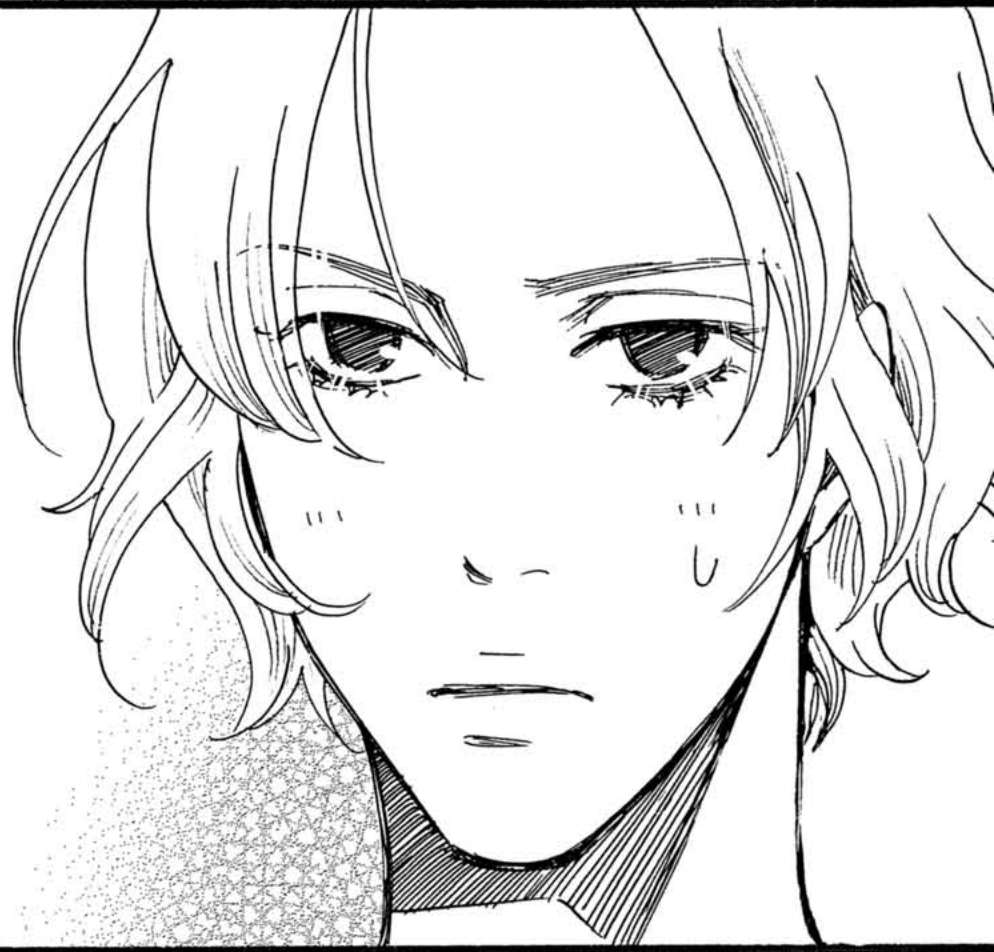
ふん

レイたん
はやく
はやく!!



レイン

昨夜は齋月と
別々に寝た



今朝も何となく
顔を合わせづらくて

起きて早々
ちよたを公園に
連れ出したりして...

あーん

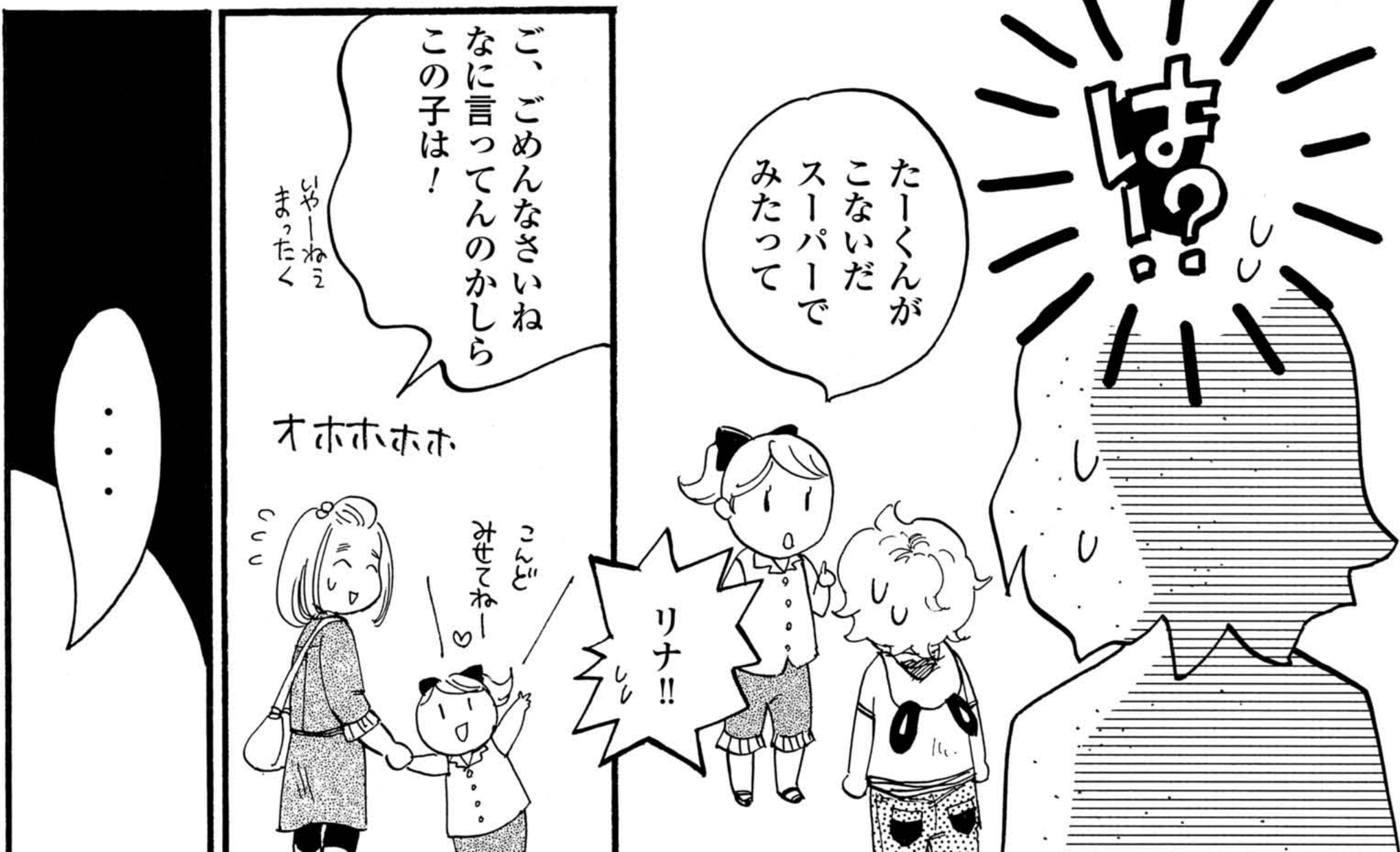
しらちゃん

あーん

あ

ちよたくん!



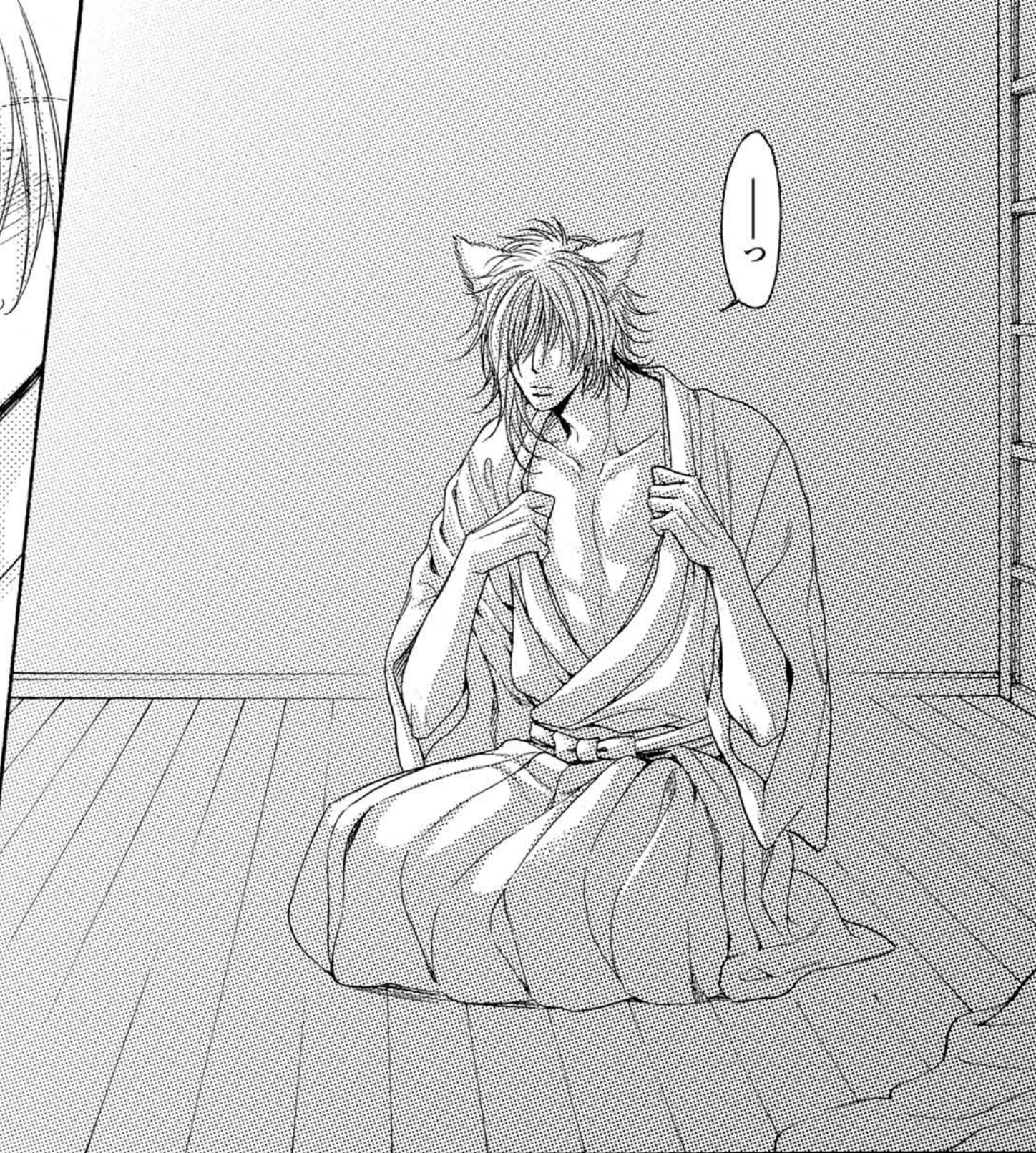




竹中せい



ワイルドハニー



嫁か…

ヒナ
もう一度
ちゃんと考えろ

お前本当に
このまま
会ったことも無い
女と結婚すんのか？



橘と
一生会えなく
なるんだぞ



それで
良いのかよ!?

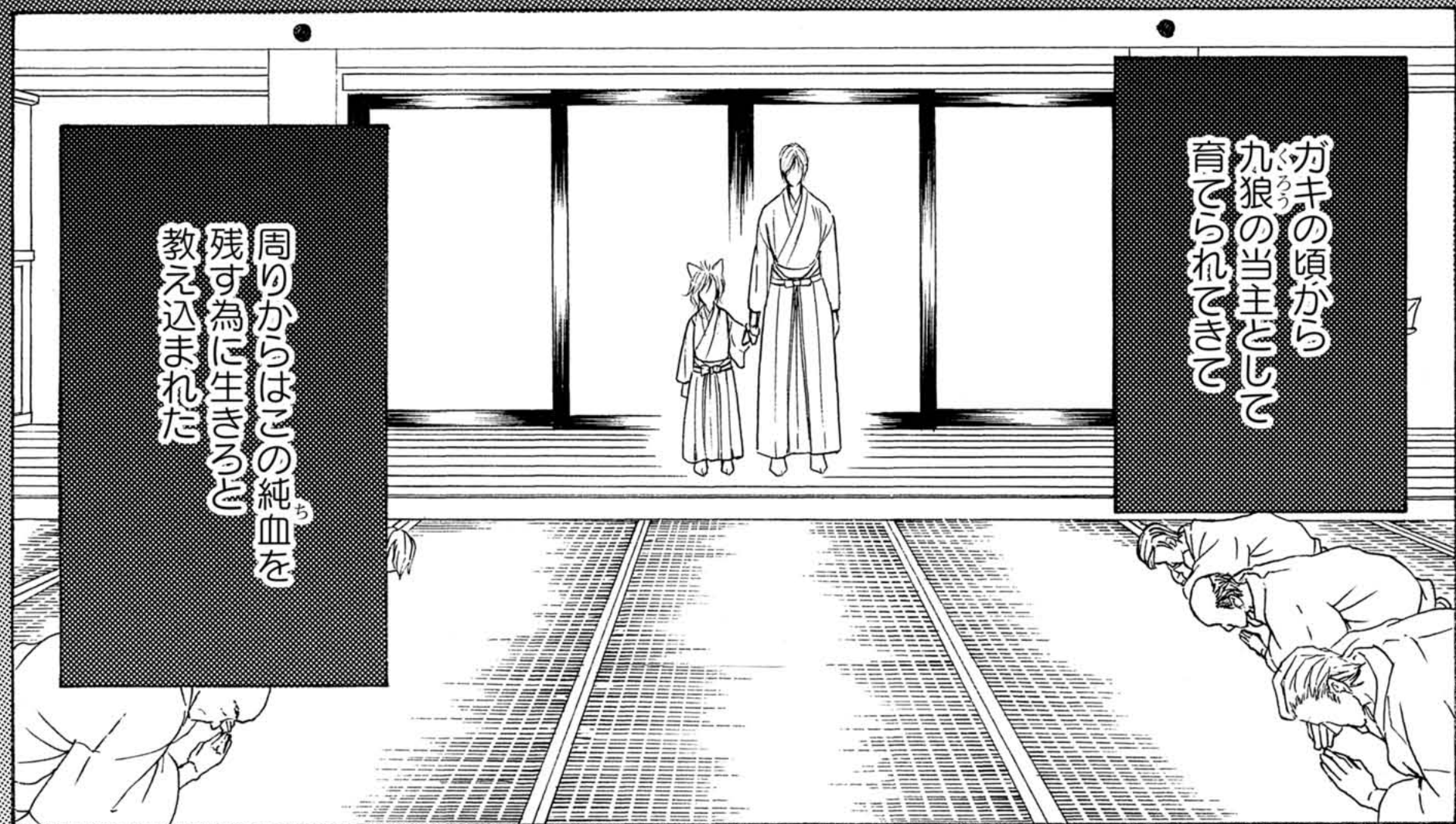
いつも当主の目覚が
どうのこうの
うるさかったくせに

ガシ
ガシ

まったく
なんだよ
あいつ

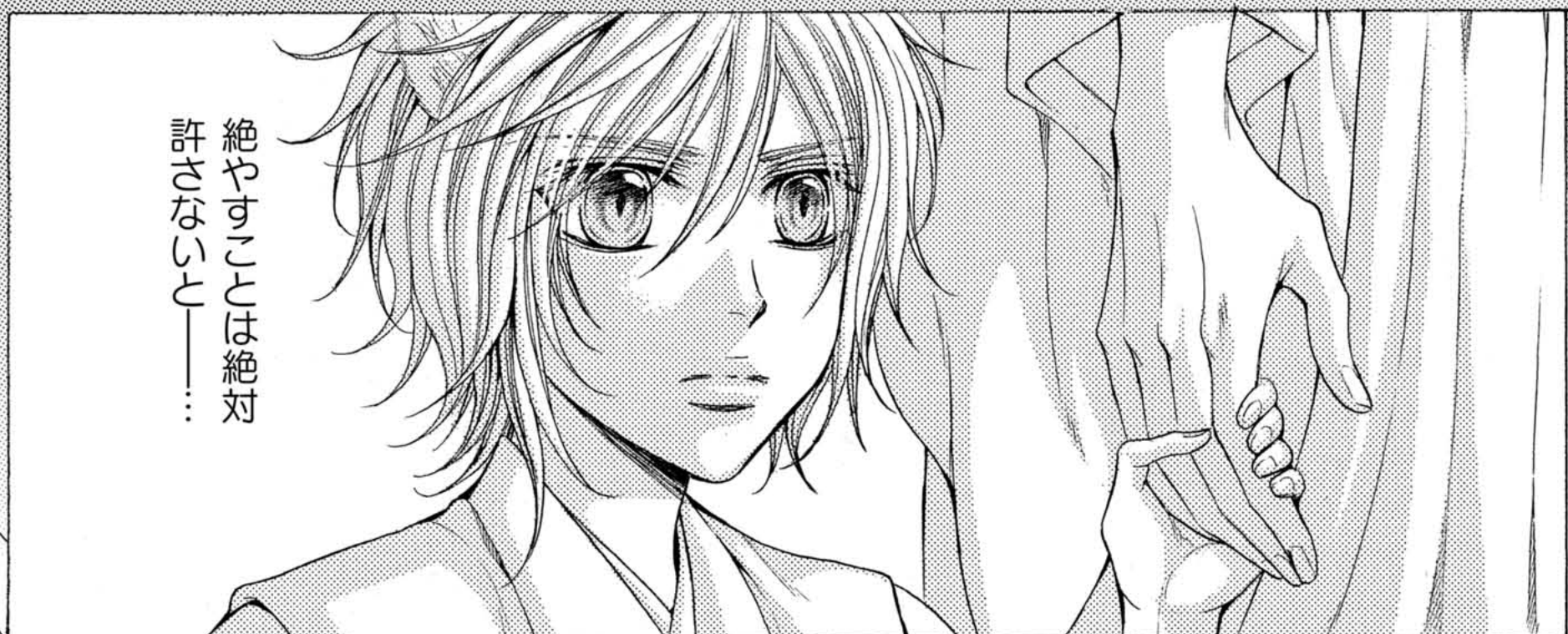


そもそも
良いも悪いも…

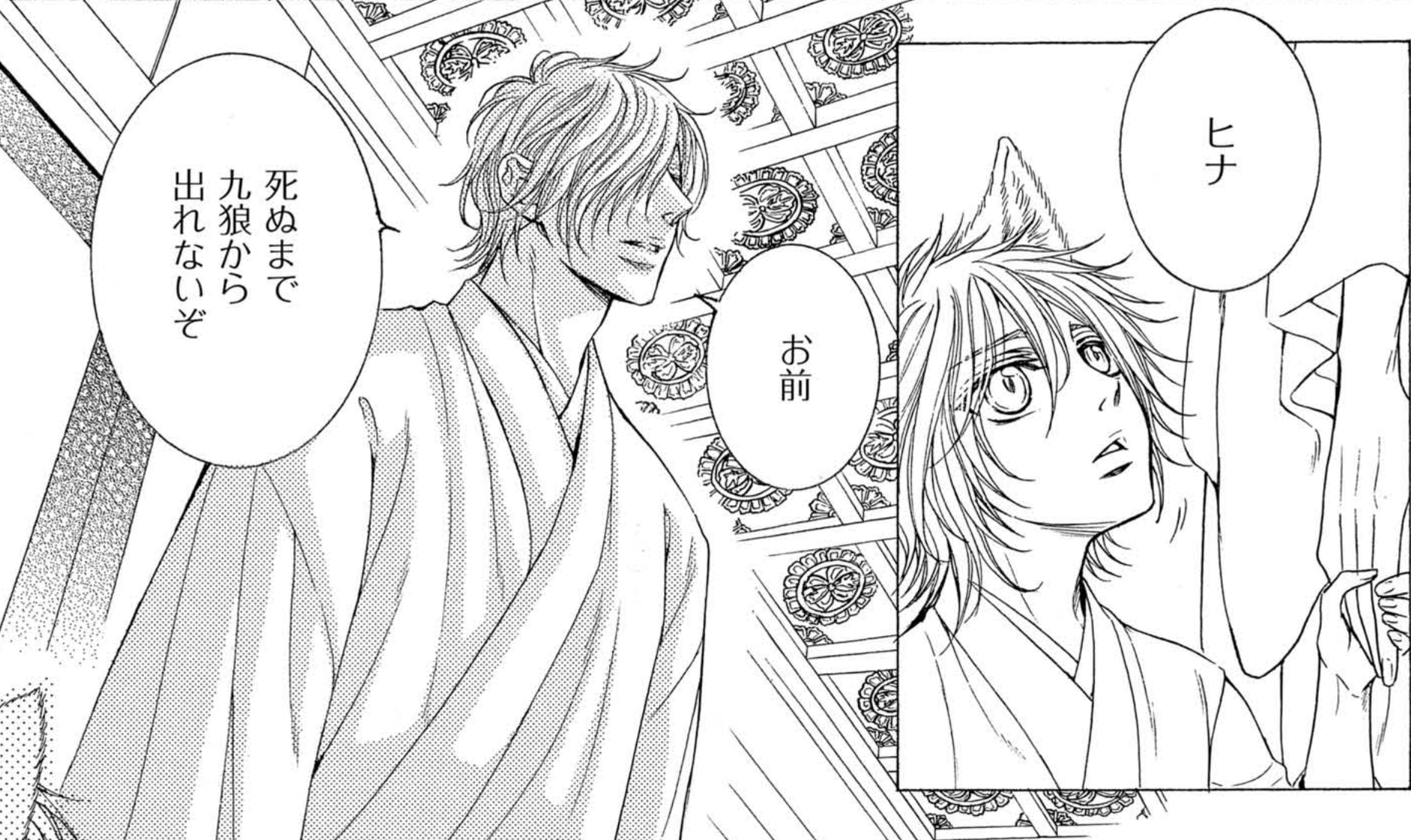


周りからはこの純血を
残す為に生きると
教え込まれた

カキの頃から
九狼の目玉として
育てられた



絶やすことは絶対
許さない



死ぬまで
九狼から
出れないぞ

お前

ヒナ



母さん
貴ちゃん家に行ってくるね

今から？

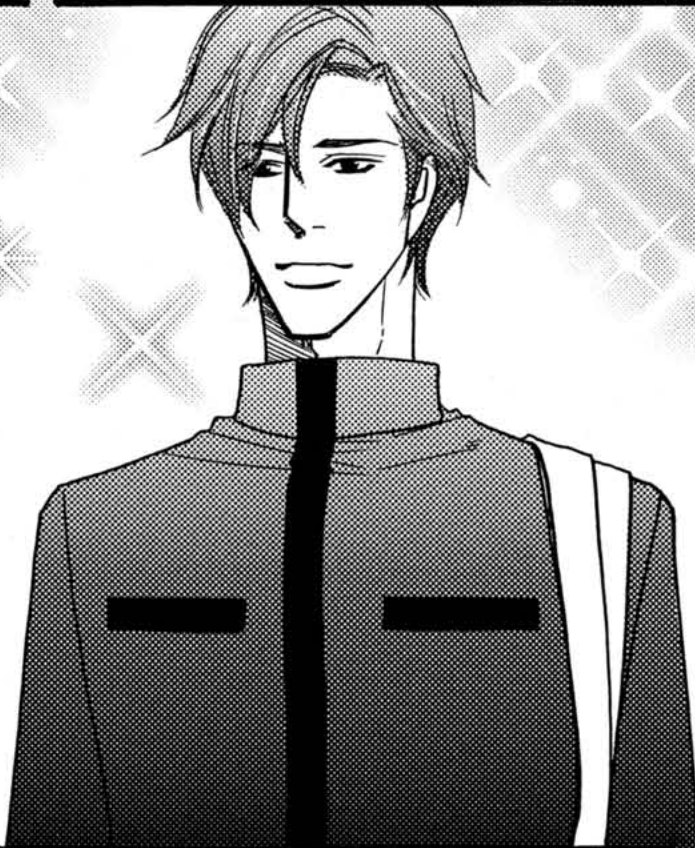
うん
そのまま泊って
貴ちゃん家から
大学行くから

幸弘 ゆきひろ
この間の新刊
面白かったって
貴ちゃんに言っといて
言っとくよ

すごいよね
お隣りに
ベストセラー作家が
住んでるなんてさ



黒田さん家の
貴彦くんたかひこと言えは
頭が良くて美男子で
礼儀正しくて
近所でも有名な
王子様おうじさまだったけど



キャー

王子キャー



こんばんは

ユキ...

黒田

今や
売れっ子作家として
全国的な名人だ



そんな
僕の自慢の
幼馴染みが

来てくれるのを
待ってたんだ

ああっやっぱり
若い男はいいっつ

筋金入りの
変態だなんて…

お隣りさんの 秘密

新世美樹

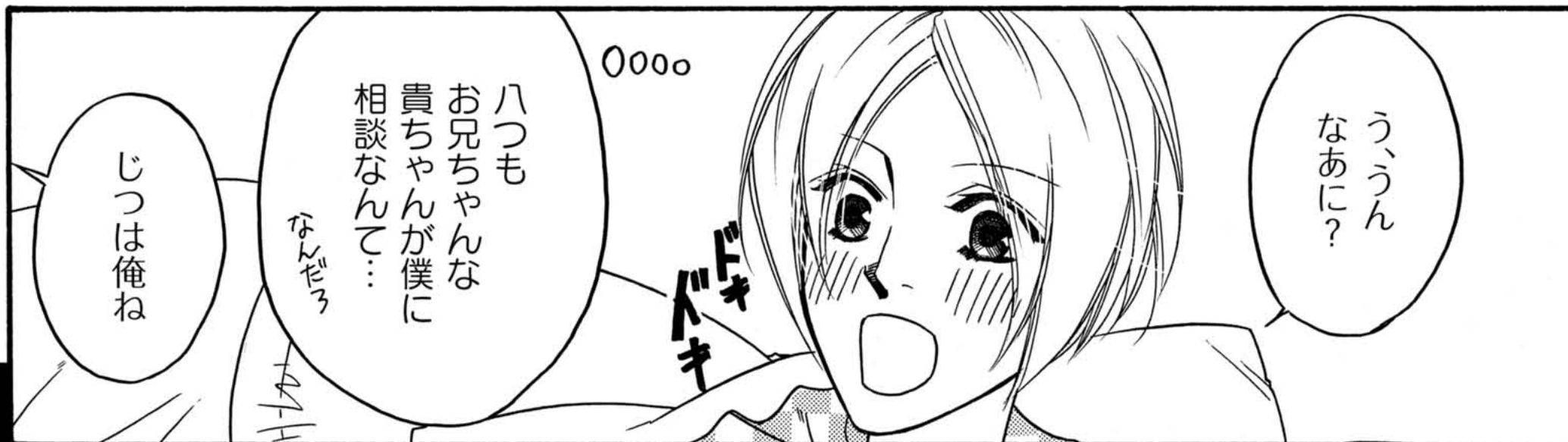
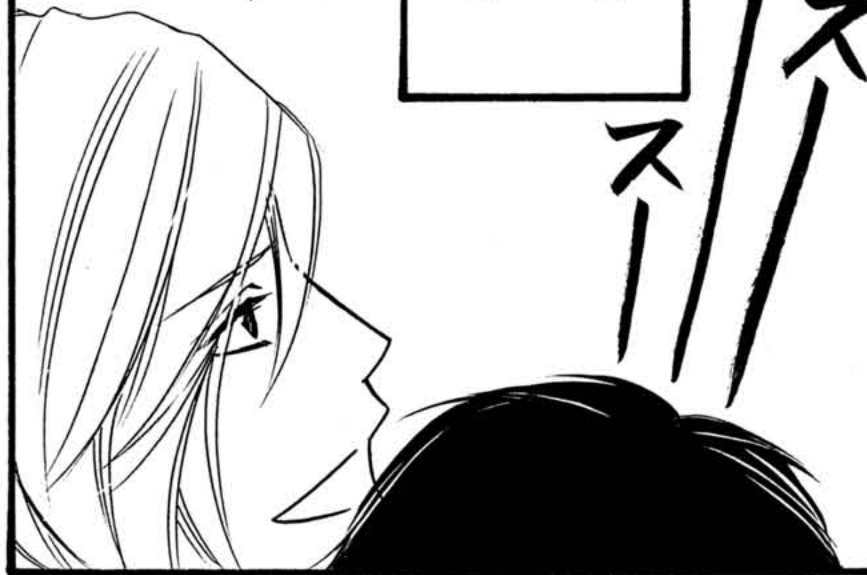


なあユキ

俺ユキに
相談したいことが
あるんだけど
聞いてくれるか？

僕がこの秘密を
知ったのは
小学五年生の時

※遠い目↓



う、うん
なあに？

ハつも
お兄ちゃんな
貴ちゃんが僕に
相談なんて…

なんぜろ

じつは俺ね

小学生の男の子が
大好きなんだよ

どっしたらいいと
思う？

— 衝撃的な
告白だった

!!!!

当時学区内の
小学生(しかも男子)に
イタズラしようとした
大学生が逮捕されて大騒ぎに
なっていただけに人ごとではなく

ど、どうしよう
貴ちゃんが
タイホされちゃうっ

うん
このままだと
いずれそうなる
ようなことを
しでかしちゃうかもね

大好きな
貴ちゃんが
そんなことに
なったら嫌だよ

でもユキが俺に
協力してくれるなら
捕まらなくて済むかも
しれないんだ

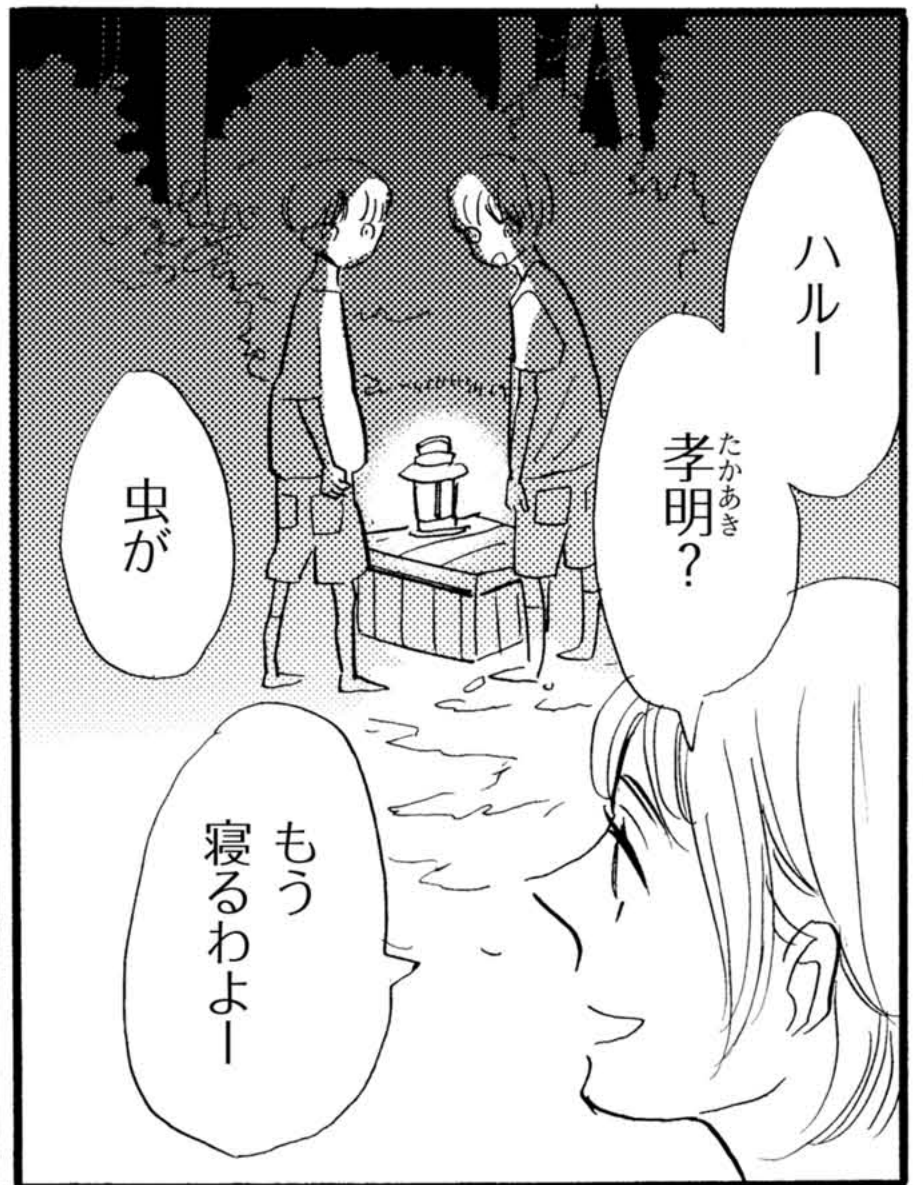
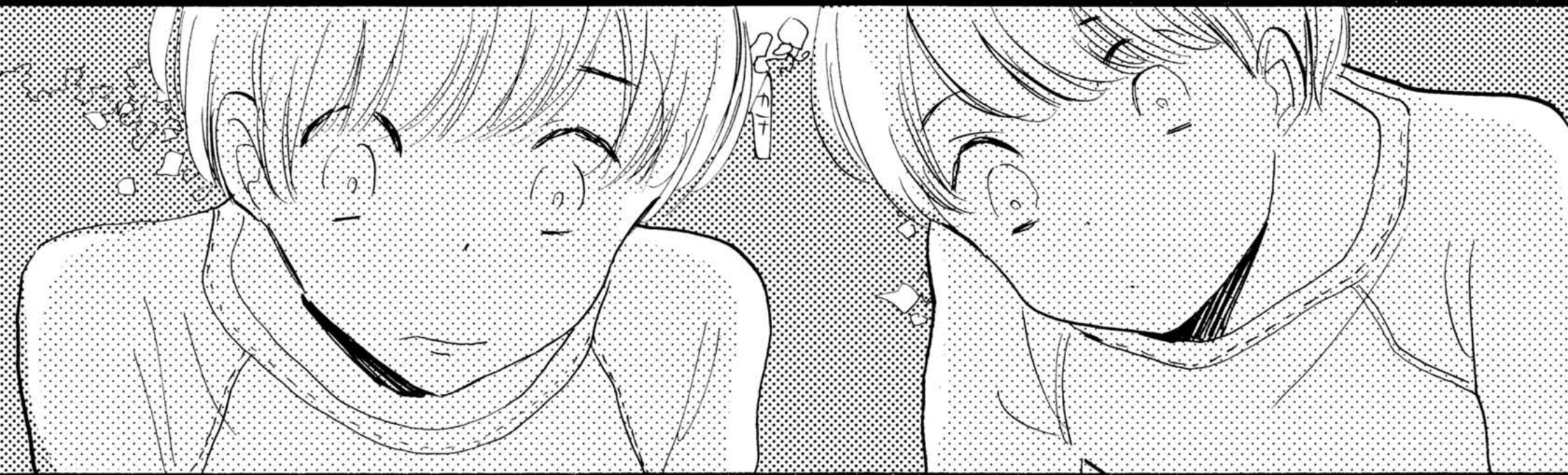
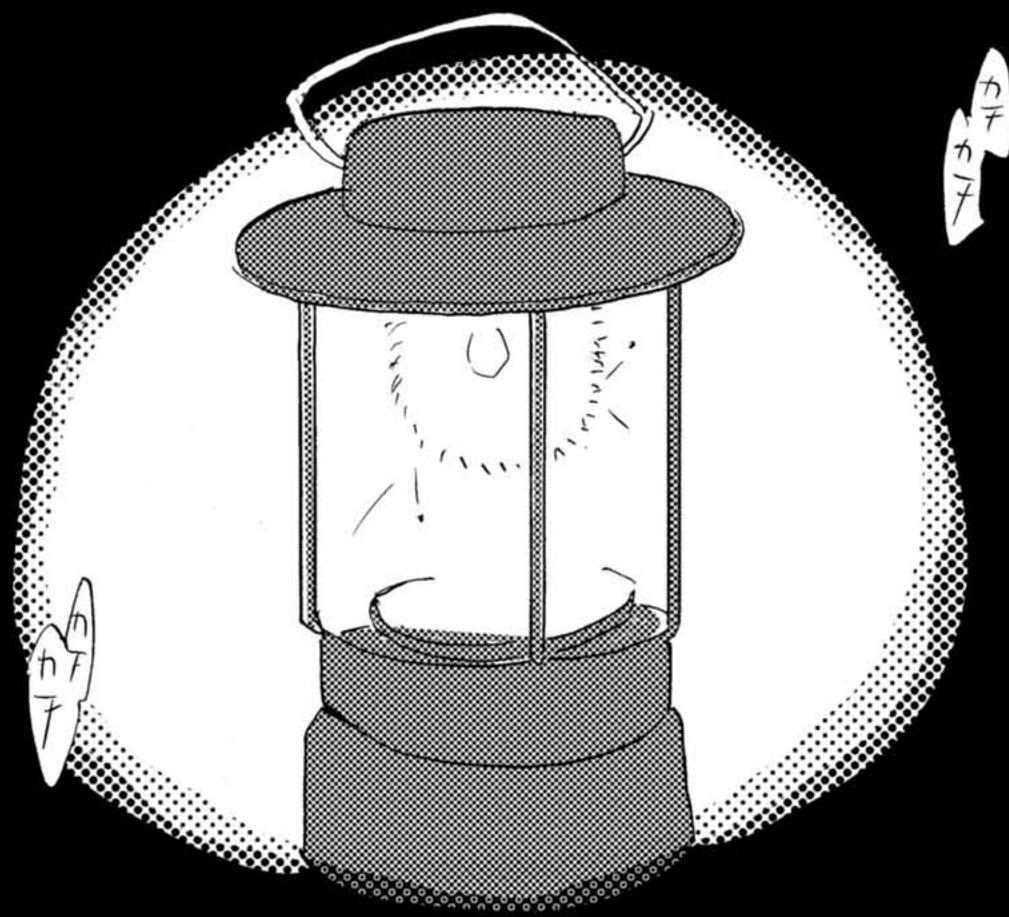
ほんとに!?
僕なんでも
するからっ

なんでも?

なんでもっっ

…ねえ貴ちゃん
僕知ってるよ

—以来



虫は光に
寄ってくる
だろうか？

こっちの方に
出口がある
なんてもう
思いつけない
んだよ

え——
じゃあ
じゃあ
この虫
どうなるの

どうなるって
そりゃあ
死ぬんだよ

出られない
から？

そっだよ

ハル

孝明

ハル

ハル——

孝明

起きなよーい

いほんよー



ゆるゆるな暮らしのマスター

山田田山



白紙

伊東七つ生



薄い
ガラスを
貼ったような海

そこに
沈む日を
映して

真白な
砂の粒が
洗われる音も
ささやかに



『美しい』……

全然
実感ないな

……いや



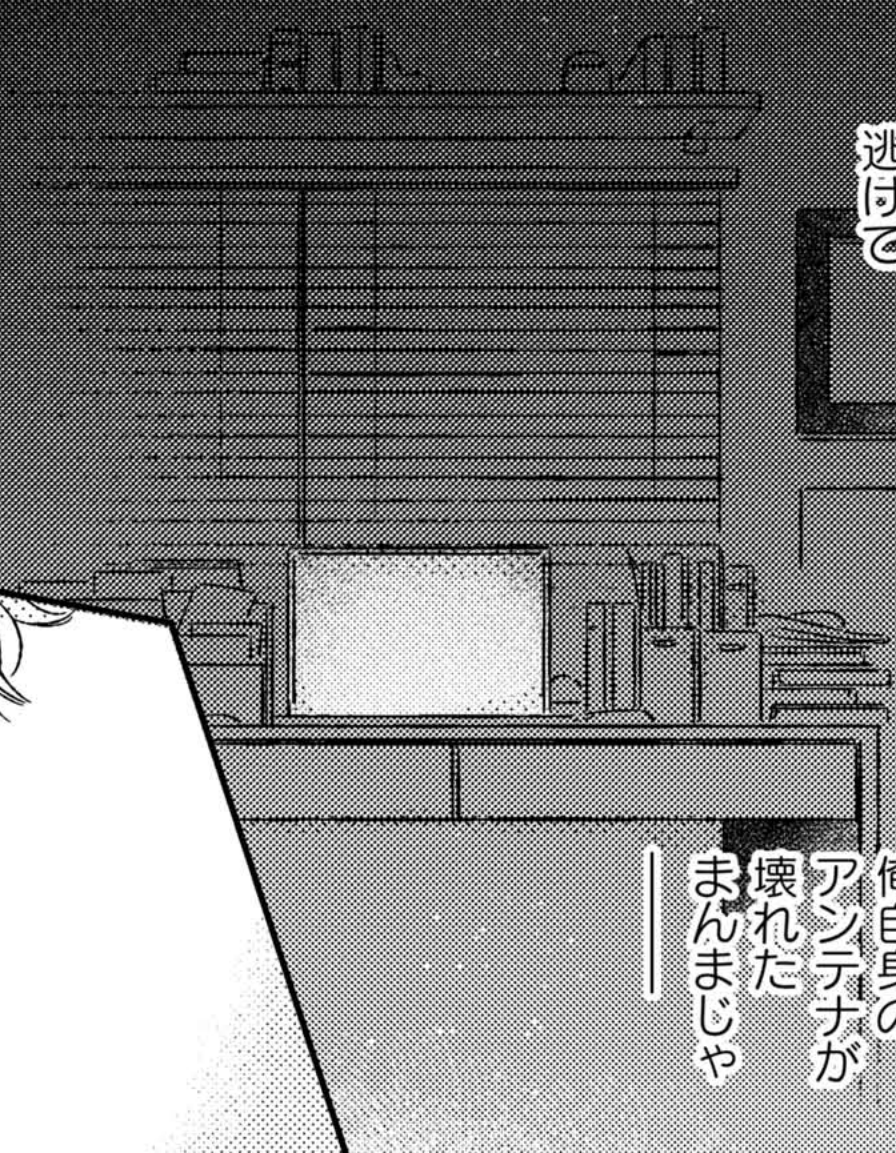
仕事部屋
から
逃げて
逃げて

はるか遠くの
美しいはずの
島へ
来てみた
ところで



おい

俺自身の
アンテナが
壊れた
まんまじゃ



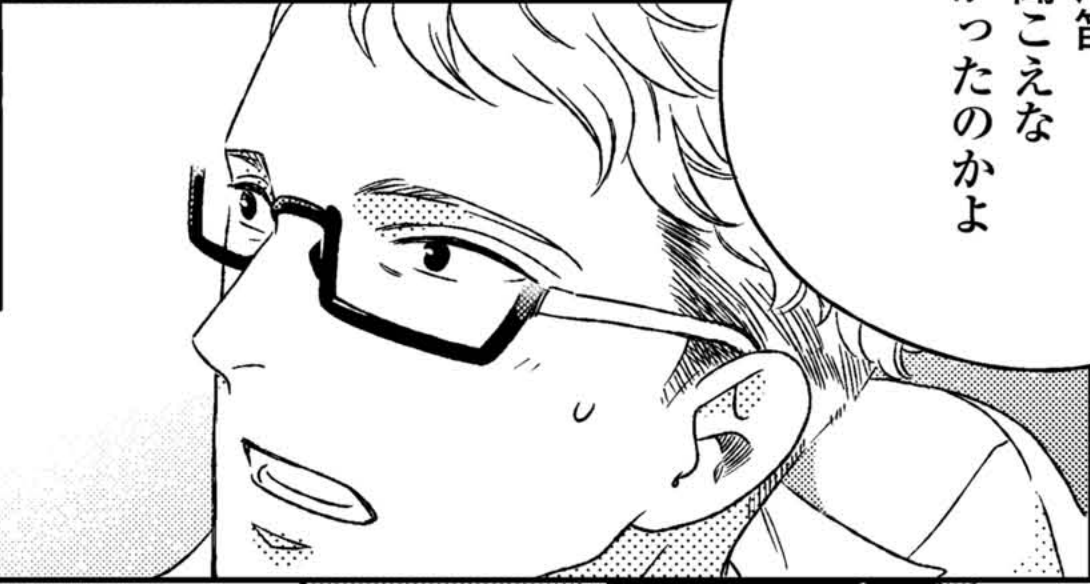


本島行きの
最終便
出ただろ

誰…？

汽笛
聞こえな
かったのかよ

あ、
……

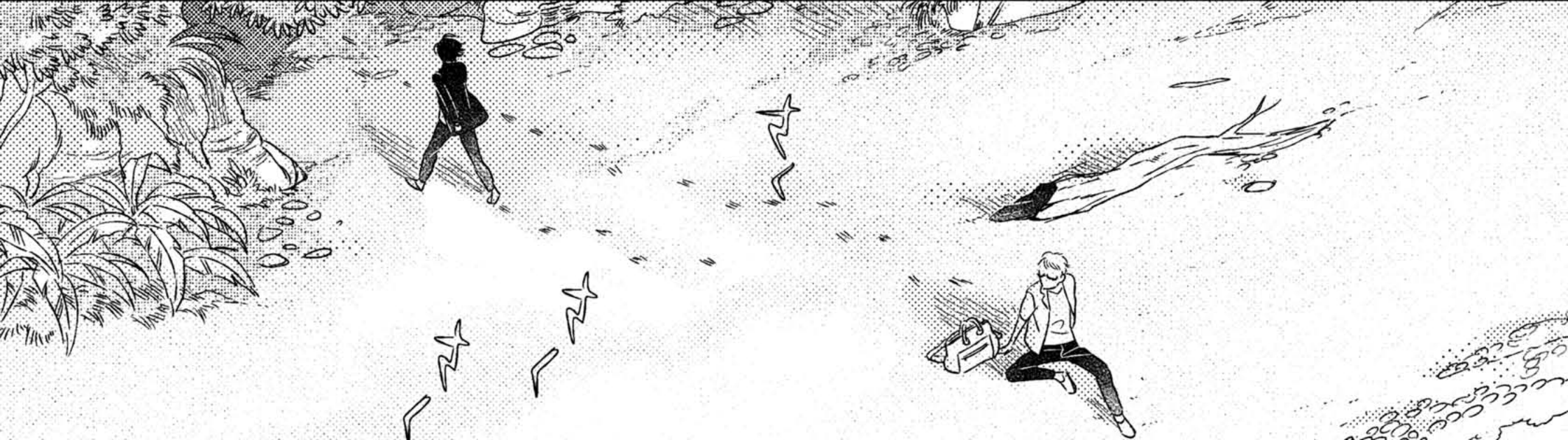


来い！



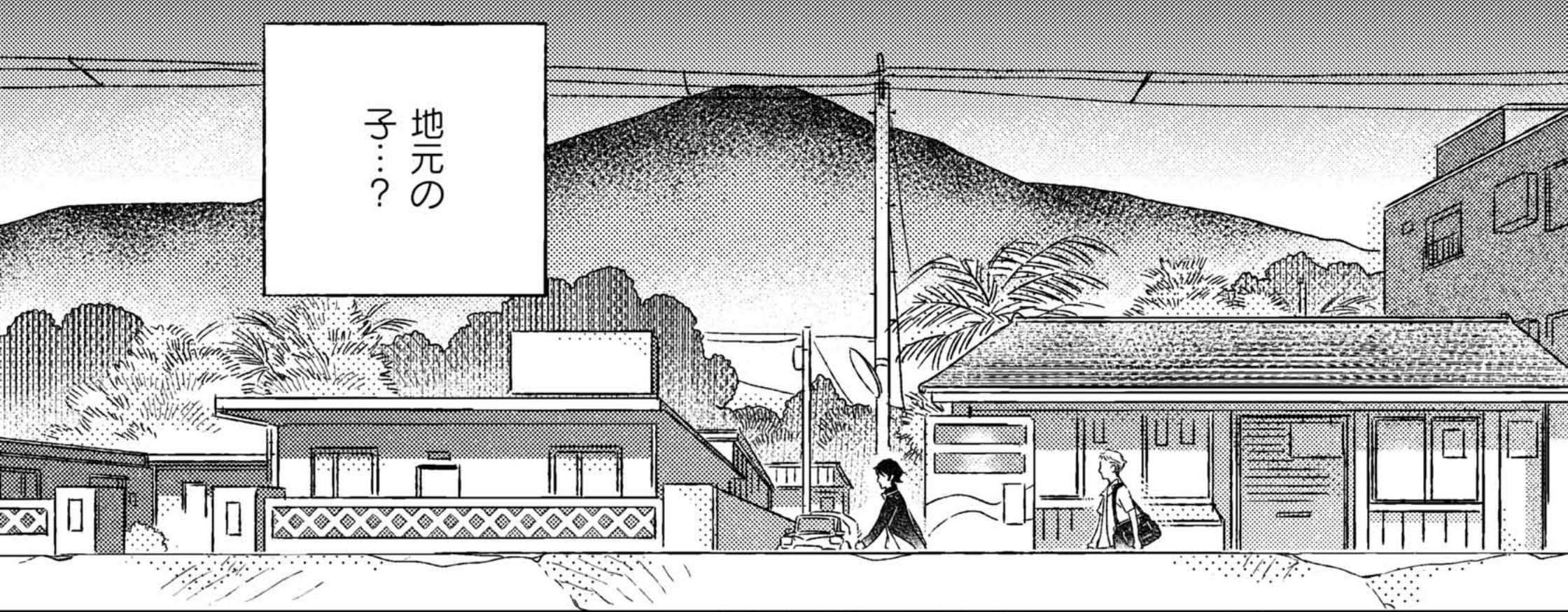
その

また…
参ったな

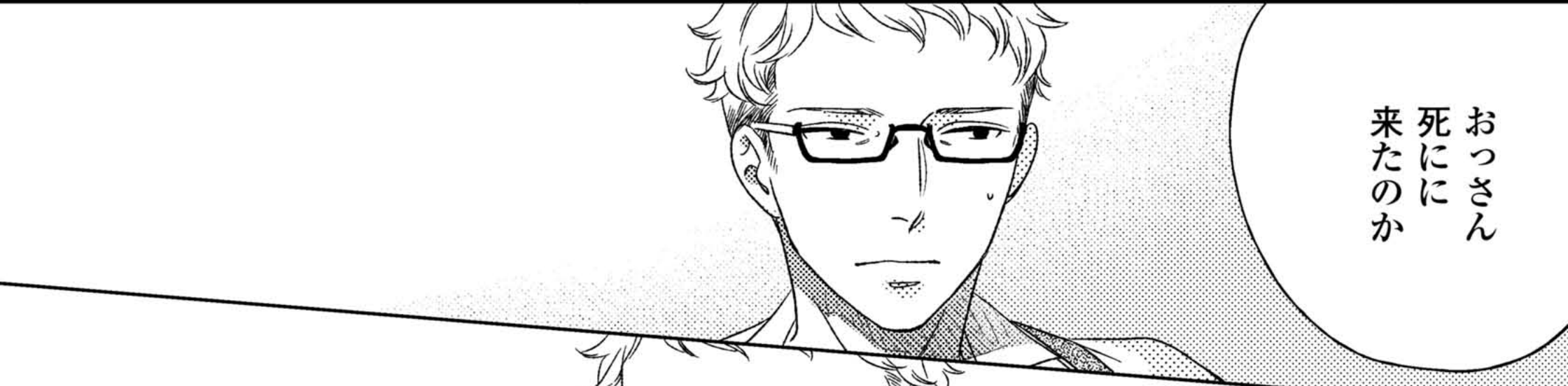




来い



地元の
子…？



おっさん
死にに
来たのか



…
そんな風に
見えた？

荷物
少ねえから

今までの奴は
結構
そうだったな

へんげん

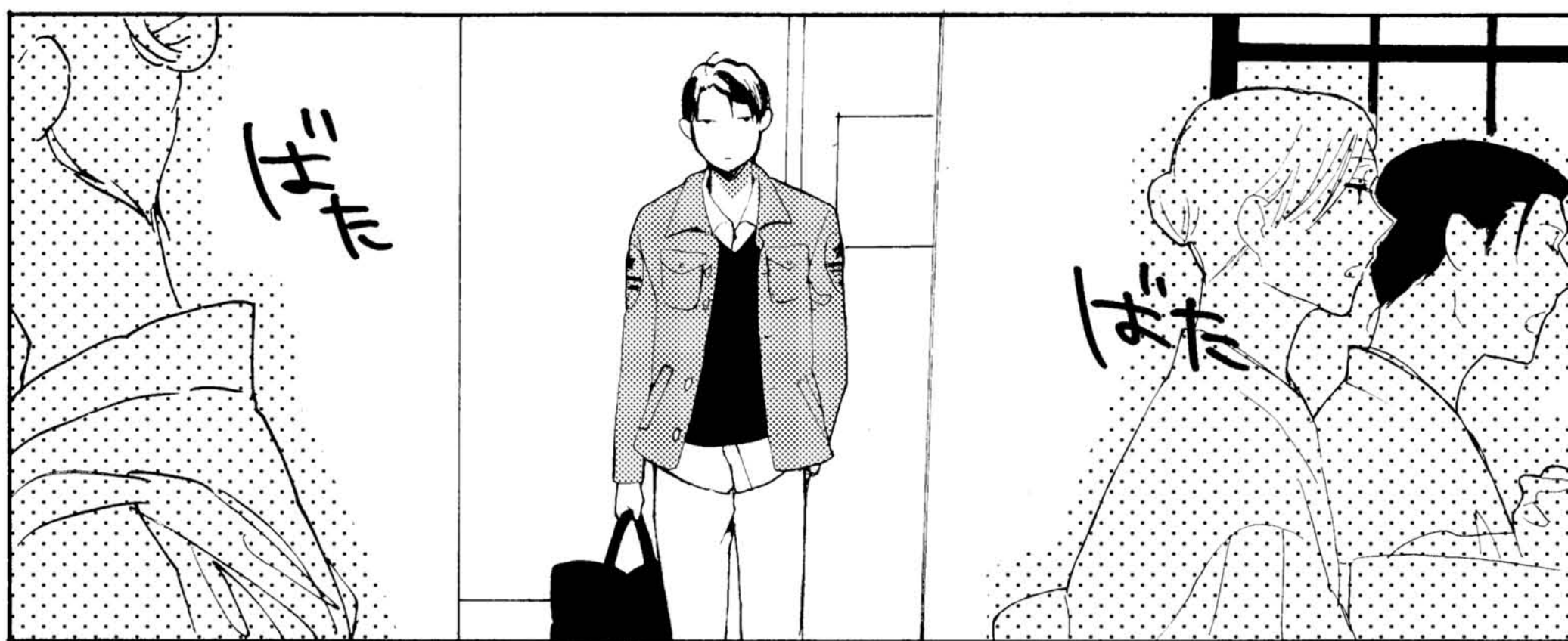
意地なしには
気がなれない



距離が
開いたら
忘れられるだろうか

少しずつ

この気持ちは
薄らいで
いくだろうか



そうなのよ
急に団体さんが
入って!

助っ人も
呼んだんだけど
来るのに時間かかるし
大変よ

今は
祐灯さんまで
駆り出されて

それは
珍しい...

あっ
あつし君!
いらっしやい

どーも何か
忙しそうッスね



あ



何か

悪化してる
気がするんだ

祐灯は幼馴染で
旅館の次男坊

小学校から
(学部は違っが)
大学まで一緒

距離が離れば
少しは落ちつく
思っただけれど...



ん
ん

いつ好きになったか
なんてわからない

一緒にいるのが
当たり前だったから――

あっ

あっちゃん
もう来てたんだ



もうちよつとで
手伝いの人
来るから…

気にすんな

それまで――



おお

ごめん
ちよつと今…

ああ
忙しいんだろ

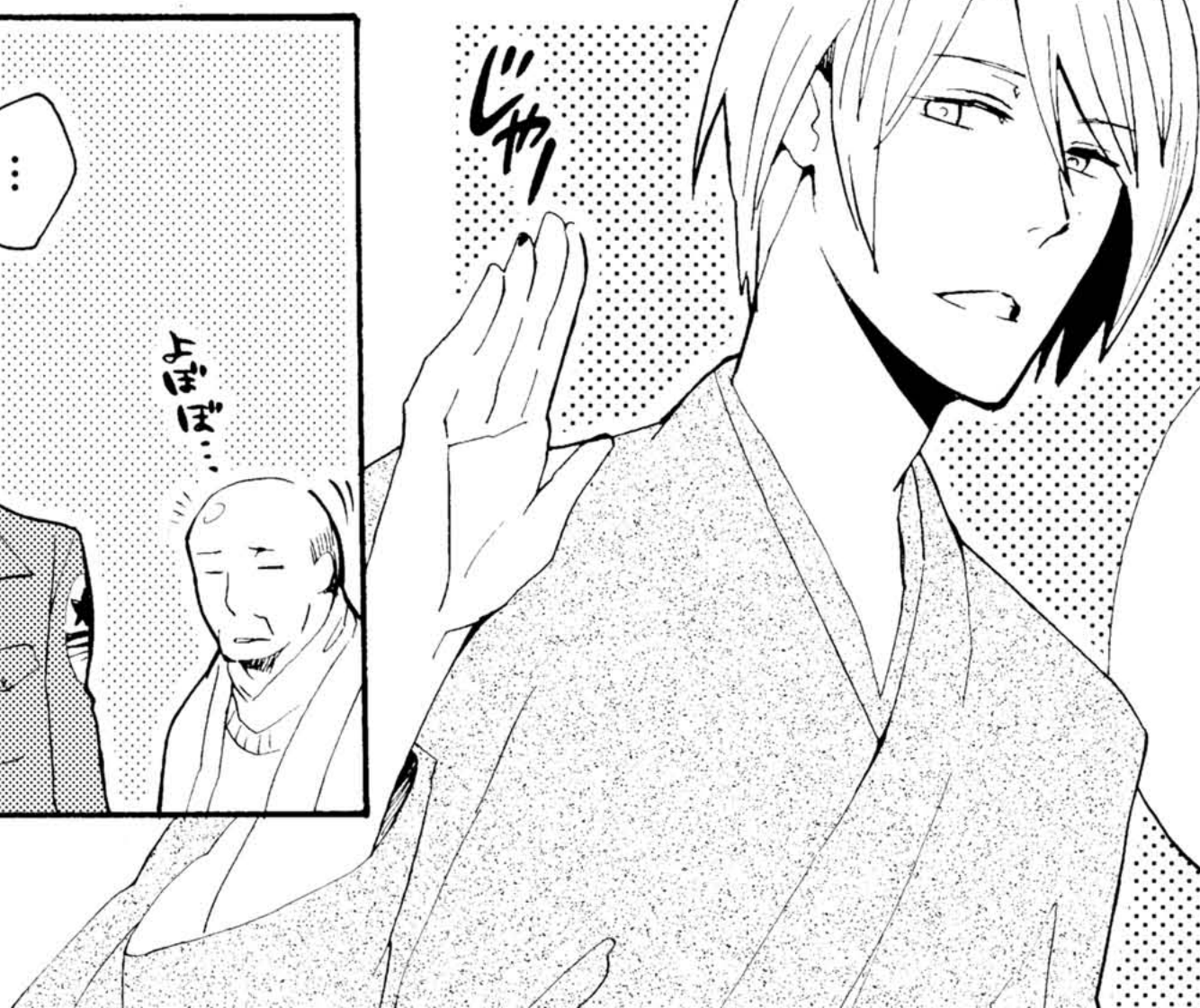


ロクさんと
お茶でも
しててね!

じゃ

あは…

…



本作の内容はすべてフィクションです。実在の人物、事件、団体などにはいっさい関係がありません。

書名 e-moca vol.12 (サンプル)

発行所 株式会社 心交社

住所 〒171-0021

東京都豊島区西池袋3-25-11 第八志野ビル5階

発行日 2013年8月10日

© 心交社

※本書の無断複写・複製・転載を禁じます。